

## 年末年始等における防疫対策の徹底について

これから年末年始及び春節時期を迎え、人や物の動きが活発になること、今後も渡り鳥が飛来・滞在シーズンが続くことから、ウイルス等の侵入防止のため、引き続き警戒をお願いいたします。

## 高病原性鳥インフルエンザの発生を踏まえた今後の発生予防対策に関する提言について

令和5年12月20日付けで家きん疾病小委員会・高病原性鳥インフルエンザ疫学調査チームにより取りまとめられました。

URL：<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/eisei/attach/pdf/index-129.pdf>

### ①農場における衛生対策

- ・農場従業員はもちろん外部事業者の衛生対策も農場側がしっかり管理・指導。
- ・効果的な消毒を実施。  
(適切な消毒薬の選択、濃度調整、薬液交換。消毒液は1日1回以上交換。)
- ・鶏舎への野生動物侵入防止対策の継続。  
(鶏舎の壁・天井の隙間の有無を定期的に点検、夜間は鶏卵運搬口、鶏糞搬出口を封鎖。)
- ・野生動物の誘因防止対策。(死亡家きん・廃棄卵・排せつ物・餌等の適切な処理、管理。)
- ・家きん舎入口での長靴交換、衛生管理区域専用の衣服・靴の着用。

### ②過去、本病の発生があった農場や周辺地域は、本病の発生リスクが高いため地域的なリスク低減の取組が必要

- ・共同利用施設での交差汚染防止対策。  
(車両消毒、衣服・靴の交換、施設の整理整頓・清掃消毒。)
- ・野鳥等の野生動物を誘引する環境の改善。  
(堆肥場に家きんの死体、軟卵・破卵を廃棄しない。防鳥ネットを設置。ため池対策。)



カラスも  
野鳥です！

### ③野鳥が多い地域(河川、池、水田付近)、野鳥等で本病ウイルスが確認された地域でも本病の発生リスクが高いことを認識し警戒を。

### ④毎日の健康観察、異状の早期発見・早期通報を徹底

- ・養鶏密集地域では、周辺農場への発生予防対策にも有効。

### ⑤韓国ではH5N6亜型を含む家きんでの本病の発生が12月に入って続発していることから、渡り鳥の飛来等を介した国内へのさらなる侵入に警戒を。